

狐・菜の花

家を雇う

お店で知り合つた方なんだけれど、あしけ  
 していいか知らず、あつていは毛皮物の仲間  
 をしてゐるんだが、  
 母の義理にいいやさうなやう  
 あり、  
 すま見をわつたので、  
 谷のろに招じ入れた。

母のはうは客の靴を見て、席を外すためにマ  
 アケツトまで、  
 つて出かかけ、その後であていはあやで眼刺き  
 母の行届いてみて、怖いか母さんだといつた。  
 母つではなまで包んで出し、  
 んだだ。

くわね、  
 下ええ、  
 下ええ、

下ええ、  
 下ええ、

下ええ、  
 下ええ、